

2025 年刊行書籍 のご案内

2025 年 4・5 月刊行予定書籍

目 次

診療点数早見表 2025 年 4 月増補版	2
DPC 点数早見表 2025 年 4 月増補版	4
薬価・効能早見表 2025	5
最新 検査・画像診断事典 2025 年 4 月増補版	6
診療報酬・完全攻略マニュアル 2025 年 4 月補訂版	6
レセプト総点検マニュアル 2025 年版	7
受験対策と予想問題集 2025 年版	7
公費負担医療の実際知識 2025 年版	8
医療関連法の完全知識 2025 年版	8
医療事務【実践対応】ハンドブック 2025 年版	9
窓口事務【必携】ハンドブック 2025 年版	9
最新・医療事務入門 2025 年版	10
医療事務 100 問 100 答 2025 年版	10
臨床・カルテ・レセプト略語事典 2025 年新版	11
診療報酬・完全マスタードリル 2025 年版	11
医療事務【BASIC】問題集 2025	11
『月刊／保険診療』	12

※ 2025 年版予約受付開始 !!
[内容見本は医学通信社 HP から➡]



診療点数早見表 2025年4月増補版

2024年6月改定

2024年10月・12月の一部改定, その他の告示・通知・事務連絡も完全収録した最新版!!

2025年4月現在の点数・施設基準・通知・事務連絡——等の完全収載版

★2024年10月・12月の初診・再診・外来診療料の一部改定, 6月改定後に発出された多数の追加告示・通知・事務連絡もすべて取り込んだ2025年4月現在の診療報酬の完全収載版!! さらにオリジナル解説・参考図表・Q&Aも充実させた万全の診療報酬点数表です。

★今回2024年6月改定後には, ①2024年10月・12月の「医療情報取得加算」「医療DX推進体制加算」の改定, ②新たな検査・特定保険医療材料の追加, ③各点数・施設基準の告示・通知の改定, ④事務連絡Q&Aの追加, ⑤選定療養(長期収載品の処方等)に係る事務連絡, ⑥先進医療・患者申出療養の改定, ⑦明細書記載要領の改定——等が行われ, 支払基金の「審査の一般的な取扱い」も多数追加されました。

★2024年版での変更部分のマーキング(緑色)に加え, 今回の2025年増補版での変更部分もすべて別にマーキング(赤色)。2024年6月以降, どこがどう変わったかが一目でわかります。さらにオリジナル解説・Q&Aも多数追加。全国大多数の医療機関・公的機関・審査機関等で使用される, 最高機能の点数表です!!



■B5判 約1,780頁
■フルカラー ■4,600円(+税)

1 改定部分が一目でわかる! 2024年6月改定による変更部分, 加えて2025年4月現在までのすべての変更部分に下線等でマーキング!! 実務に便利な画期的編集!	2 関連規定を完全収載! 「早見表」ですが簡略版ではありません。事務連絡, 材料基準, 療担規則, 給付調整, 明細書記載要領まで完全収載した情報量NO.1の点数表!	3 オリジナル解説・Q&A付き! 厚生省・地方厚生局等に確認した確実なQ&Aを多数掲載。オリジナル解説・算定例・一覧表も随所に付記し, わかりやすさ抜群!
4 見やすく機能的なレイアウト! フルカラーで通則・点数・基準・通知をビジュアルに分類。点数と通知, 基準と通知をそれぞれ一括掲載した一覧性の高いレイアウト!	5 自在な検索機能とスムーズな連携! 詳細な目次, 約1万項目の緻密な索引によって素早い検索が可能。さらに点数には該当施設基準のページを明示し, 素早く的確に基準確認!	6 アフターサービスも万全! 施設基準や保険外併用療養費の届出様式(そのまま入力・届出可), 発刊後の告示・通知・事務連絡もすべてHPで完璧にフォロー!

『診療点数早見表』1冊=ワクチン2人分 医学通信社では, 本書『診療点数早見表』1冊につきワクチン(ポリオワクチン)2人分相当を認定NPO法人「世界の子どもにワクチンを」日本委員会(JCV)に寄付する活動を行っています。

内容見本

★2024年6月改定部分は緑色, 今回の2025年4月増補版での変更部分は赤色でマーキング。すべての変更点が目でわかる画期的なオリジナル編集

★「通則」の規定が適用される全項目に「通則」の記号を表示した, 便利なオリジナル編集

★すべての事務連絡Q&Aと, 厚生省等に確認をとった, 確かな内容の医療団体Q&Aを多数掲載

★見逃しがちな「通則」の規定もフルカラーで分類しているため, 明確に把握できます

★告示・点数・基準の重下に関連通知を組み合わせて掲載。無駄のないレイアウトで, ページ単位の収載情報量が多く, 全規定が一覧できます

★臨床・医学的な解説も付記。基本的な術式の内容をわかりやすく解説しています

354 手術 (編)

該当欄に「0」と記載する。なお, 実績がゼロでも届け出れば手術実施時に所定点数を算定可能である。

第2 手術を受けるすべての患者に対して, 手術内容等を文章を用いて説明する旨が, 手術の部の「通則5」及び「6」に掲げる手術以外であっても説明が必要。

※ 文章による説明はすべての手術について実施する。2 篇文章による説明は, ① 2 篇文章が必要か, 2 篇文章のとおり。

通則

⑧ 区分番号 K528, K535, K538, K586 の 3, K587, K604, K605, K751 の 3 及び 4, K751-2, K756 並びに K773 に掲げる手術 (1 歳未満の乳児に対して行われるものに限る) については, 別に厚生労働大臣が定める施設基準 (※告示(第2の2)6.706) に適合しているものとして地方社会保険事務局長に届け出た保険医療機関において行われる場合に限り算定する。

(編注) ① 本書では, 「通則6」に該当する手術に「0」印を付した。
② 65歳改定により, 100分の5加算・100分の30減算は廃止された。

通則

⑦ 区分番号 K132, K138, K143, K147, K148, K150, K151-2, K154 から K155 まで, K183 から K184-2 まで, K186, K189, K192 から K194 まで, K178, K180, K191, K192, K239, K241, K243, K245, K259, K261, K268, K280, K275 から K282 まで, K340, K386, K393 の 1, K397, K398 の 2, K425 から K426-2 まで, K511 の 3, K518, K528, K535, K554 から K558 まで, K582 から K572 まで, K573 の 2 から K587 まで, K589 から K591 まで, K601, K610 の 1, K633 の 4, K636, K638, K644, K664, K666, K674, K684, K716 の 1, K726, K728, K734, K751 の 1 及び 2, K752, K775 並びに K805 に掲げる手術 (手術時体重が 50kg 未満の児) 又は新生児 (手術時体重が 50kg 未満の児) に対して実施する場合には, それぞれ当該手術の所定点数の 100 分の 40 又は 100 分の 300 に相当する点数を加算する。

(編注) ① 本書では, 「通則7」に該当する手術に「0」印を付した。

通則

⑧ 3 歳未満の乳幼児に対して手術 (⑧カテーテル挿入及び K911 に掲げる術前準備) を行う場合を除く。当該手術の所定点数に所定点数の 100 分の 100 に相当する点数を加算する。ただし, 前号に規定する加算を算定する場合は算定しない。

「通則7」及び「通則8」については「通則7」及び「通則8」の加算は, 第1節手術料に定める手術のみ適用され, 輸血料, 手術医療費等加算, 薬剤料及び特定保険医療材料は加算の対象とならない。

また, 「通則7」及び「通則8」の「所定点数」とは, 第1節手術料の各区分に掲げられた点数及び各区分の「注」に規定する加算の合計をいふ。「通則7」の加算点数は含まない。

(編注) ② 各種加算の算定例

① K910 手術 (年齢 44 歳 1 歳・時間外の場合)

$$640 + (640 \times \frac{100}{100}) + (640 \times \frac{40}{100}) = 1,536$$

② 上記例で指5 本行った場合

$$(640 \times 5) + (3,200 \times \frac{40}{100}) = 7,840$$

③ K900 創傷処置の4 (真皮縫合), 時間外の場合

$$(470 + 480) + (930 \times \frac{40}{100}) = 1,302$$

④ K511 創傷 (筋室切開), 自動縫合器使用, 2 歳の場合

$$35,800 + 2,500 + (35,800 \times \frac{100}{100}) = 74,100$$

通則

⑨ 区分番号 K283, K284, K314, K343, K374, K376, K394, K410, K412, K415, K422, K424, K425, K439, K442 の 2 及び 3, K455, K458 並びに K463 に掲げる手術については, 区分番号 K463 に掲げる術前準備を併せて行った場合は, 所定点数に片側の場合は 4,000 点を, 両側の場合は 8,000 点を加算する。

(編注) ① 本書では, 「通則9」に該当する手術に「0」印を付した。

400 手術 (内収切開, 断筋, 再接合)

3 肩鎖 (指, 手, 足) 4,270点
 K078 頸血管の閉鎖手術 18,400点
 1 肩, 腕, 膝 11,000点
 3 肩鎖 (指, 手, 足) 5,540点
 K079 頸帯断裂形成手術 18,700点
 1 十字韌帯 11,500点
 3 指 (手, 足) その他の指 9,880点
 K079-2 頸帯断裂形成手術 (頸筋下) 18,700点
 1 十字韌帯 20,800点
 2 腕関節 13,500点
 3 指 (手, 足) その他の指 11,900点
 K080 関節形成手術 26,500点
 1 肩, 腕, 膝 26,500点
 2 腕, 肘, 手, 足 17,600点
 3 肩鎖 (指, 手, 足) 8,130点
 注 関節挿入患者の臨床から作成した場合, 所定点数に 880 点を加算する。

→ 四肢切断, 断筋, 再接合

同側足関節と後方制動術の確保
 同側足関節に対して, 二関節固定術を併用した場合は, K800 関節形成手術の「2」に準じて算定する。

K800-2 内反足手術 17,800点

→ 内反足手術
 内反足手術は, アキレス腱延長術・後方足関節切開術・足底腱膜切開術を行い, 後足部をキルシュナー鋼線・正する方法により行った場合に算定する。

K801 人工骨挿入手術 15,000点
 1 肩, 腕, 膝 11,600点
 3 指 (手, 足) 5,370点
 K802 人工関節置換術 22,300点
 1 肩, 腕, 膝 22,300点
 2 腕, 肘, 手, 足 17,500点
 3 肩鎖 (指, 手, 足) 7,880点
 K802-2 人工関節置換術 15,500点
 1 肩, 腕, 膝 15,500点
 2 腕, 肘, 手, 足 12,200点
 3 肩鎖 (指, 手, 足) 8,250点
 K802-3 人工関節置換術 33,900点
 1 肩, 腕, 膝 33,900点
 2 腕, 肘, 手, 足 26,300点
 3 肩鎖 (指, 手, 足) 11,800点
 → 人工関節置換術

再置換術は, 置換術から 6 か月以上経過したものに ついてのみ算定できる。

K803 鋼線等による直達牽引 (顔面)
 顔面手術 (顔面手術) を含む (1 局所につき) 2,300点
 注 介連牽引又は消滅牽引等併せて行った場合は, 鋼線等による直達牽引の所定点数のみにより算定する。

→ 鋼線等による直達牽引
 (1) 鋼線等を用いて顔面に牽引を行った場合に算定する。なお, 鋼線等による直達牽引は, 鋼線牽引法, 絞索牽引法及び高直達牽引法を含む。
 (2) 当該鋼線等による直達牽引のうち顔面に行ったものについて所定点数を算定する。なお, 鋼線等の除去の費用は, 所定点数に含まれ, 別に算定できない。
 (3) 1 局所とは, 上肢の左右, 下肢の左右及び顔面より顔面までの範囲のそれぞれをいふ。全身を 5 局所に分るものである。
 (編注) 鋼線等による直達牽引 (2 局所以上) 及び介連牽引については, 処置の J17, J118 による。
 (参考) 牽引療法 (traction)
 牽引療法とは持続的に牽引力を作用させ, 相接近しようとする 2 つの骨端を引き離し, それにより疾病の治療を企図するものである。その適応は骨折の整復固定, 脱臼整復, 関節疾患に対しては局所の安静と疼痛の軽減, その他の治療の可及防止や関節機能による不良状態の矯正などに用いられる。一方, 関節脱臼, 骨折閉鎖等に対しては斜角牽引や骨盤牽引が行われ, 牽引療法とは皮膚を介して行う介連牽引と骨に直接牽引力を及ぼす高直達牽引法とがある。

K803-2 内反足板子固定 2,000点
 注 介連牽引又は介連牽引又は消滅牽引等併せて行った場合は, 内反足板子固定の所定点数のみにより算定する。

→ 内反足板子固定
 内反足に対してキルシュナー鋼線等足板子固定を行った場合に算定する。この場合において, キルシュナー鋼線等による所定点数のみにより算定する。

四肢切断, 断筋, 再接合

K804 四肢切断術 21,600点
 1 肩, 腕, 膝 21,600点
 2 上腕, 前腕, 手, 大腕, 下腕, 足 14,400点
 3 指 (手, 足) 3,330点
 K804-2 肩甲断筋術 21,600点

★該当する施設基準を示したうえで, 該当ページも明示。点数から簡単に施設基準を検索できます

★オリジナル解説・算定例で, 曖昧な解釈, 難解な規定を的確に解説。具体的な算定例もわかりやすく明示しています

★新規・追加・変更部分はもちろん, 改定による削除部分や経過措置の該当項目・期日もすべて明示。すべての改定内容がわかります

最新 検査・画像診断事典

保険請求・適応疾患がすべてわかる

★2024年改定後、2025年4月までに新たに保険取載された多数の検査項目、追加通知・事務連絡をすべて収載。さらに最新の審査・臨床知見から適応疾患や検査法も全面的に見直した2025年4月現在の最新増補版!!

★点数表上のすべての検査・画像診断・病理診断について、手技・適応疾患・保険請求ポイントを明快に解説。

8.10 顕鏡検査

顕鏡を用いて、目視で検体を観察する検査法。
顕微鏡を用いた観察を顕微鏡検査、顕微鏡を用いた観察の目的にもよるが顕微鏡を用いた観察を顕微鏡検査とする。

●免疫蛍光免疫測定法 (FEIA, ELFA, EV-FIA)
抗原抗体反応を利用し、反応物の検出に蛍光物質を用いる方法。
抗原抗体反応を利用して、反応物の検出に蛍光物質を用いる方法。検査を簡便にするために抗原抗体反応を利用して、反応物の検出に蛍光物質を用いる方法。

●分子生物学検査
核酸増幅反応 (PCR) を利用し、DNAを増幅して検出する方法。
核酸増幅反応 (PCR) を利用し、DNAを増幅して検出する方法。

●血液・分子生物学検査
血液検査と分子生物学検査を組み合わせた検査法。
血液検査と分子生物学検査を組み合わせた検査法。

※検査の「適応疾患」はレセプト審査で特に注意すべき点。本書では、日本臨床検査医学会の協力のもと、特に「適応疾患」を何重にもチェックし、徹底した精緻化を図っています。

第5章 免疫学的検査

1. ABO 血液型 (A, B, O) 血液型 24点
【目的】輸血に必要となる血液型を判定する検査。ABO 血液型と Rh 因子血液型を判定する。ABO 血液型は、受血者血液に輸血された血液が凝集しないように、輸血する血液の ABO 血液型を判定する。Rh 因子血液型は、輸血された血液が凝集しないように、輸血する血液の Rh 因子血液型を判定する。

2. Coombs 試験 (C, D, E) 24点
【目的】赤血球表面に免疫グロブリンの存在の有無を調べる検査。直接 Coombs 試験では、患者赤血球に免疫グロブリンが結合しているかどうかを調べる。間接 Coombs 試験では、患者血清中に免疫グロブリンが存在しているかどうかを調べる。

3. Rh (その他) 血液型 10点
【目的】Rh 因子血液型 (Rh 因子) は、輸血の際に重要な検査項目である。Rh 因子血液型を判定する。

※充実した索引により、検査項目から適応疾患名へ、疾患名から検査項目へと自在に検索可能。レセプトの適応疾患チェックはもちろん、検査オーダー時の適応疾患チェックにも最適です。

2. 検査によるもの

検査項目ごとの適応疾患を調べる。
検査項目ごとの適応疾患を調べる。

3. DEXA による骨密度検査

骨密度検査の適応疾患を調べる。
骨密度検査の適応疾患を調べる。

4. MD 検査

MD 検査の適応疾患を調べる。
MD 検査の適応疾患を調べる。



■日本臨床検査医学会 編著
■B5判 約440頁
■2色刷
■2,800円 (+税)

診療報酬・完全攻略マニュアル

ビジュアル速解・点数表全一覧&レセプト請求の要点解説

★2024年10月・12月の初診・再診・外来診療料の一部改定 (「医療情報取得加算」「医療 DX 推進体制加算」の改定)、6月改定後に発出された多数の追加告示・通知等もすべて収録した2025年4月現在の最新版!!

★単なる一覧表ではなく、点数表上のあらゆる規定——「通則」「点数」「注」「通知」「事務連絡」「施設基準」「明細書

在宅医療 14

在宅医療に関する診療報酬の解説。
在宅医療に関する診療報酬の解説。

A. 在宅医療の診療報酬

在宅医療の診療報酬の解説。
在宅医療の診療報酬の解説。

B. 在宅医療の診療報酬

在宅医療の診療報酬の解説。
在宅医療の診療報酬の解説。

※診療報酬点数表 加算・判断料、算定要件 (入院・外来の別、患者要件、適応疾患、回数、期間制限、併算規定の可否等)、施設基準要件 (人員・施設・届出) などが一目でわかる高機能一覧表。

2. 診療報酬の解説

診療報酬の解説。
診療報酬の解説。

3. 診療報酬の解説

診療報酬の解説。
診療報酬の解説。

4. 診療報酬の解説

診療報酬の解説。
診療報酬の解説。

※特に注意すべき診療報酬の術式や難解なポイントは、イラストでビジュアルに分解。レセプト記載で注意すべき診療報酬には、具体的な記載事例を示してわかりやすく解説してあります。

C. レセプトの書き方

レセプトの書き方の解説。
レセプトの書き方の解説。

D. レセプトの書き方

レセプトの書き方の解説。
レセプトの書き方の解説。

2024年10月・12月の一部改定、追加告示・通知等もすべて取り込んだ2025年4月現在の最新版。診療報酬のあらゆる規定を一覧表にわかりやすく総まとめ!!



■診療報酬請求事務・認定コーチ 青山美智子 著
■B5判 約480頁
■2色刷
■2,800円 (+税)

レセプト総点検マニュアル

B 5判 / 2色刷 / 約250頁
2,400円 (+税)

2025年4月現在の診療報酬・審査基準に準拠した最新版!! 審査機関の審査委員による「最近の審査の傾向」「診療科別点検ポイント」「症状詳記のアドバイス」など、査定減点对策の“秘中の秘”を集大成!!



2025年4月現在「診療科別レセプト審査のポイント」収録

★2024年10月・12月の一部改定、6月改定後の追加告示・通知等に準拠し、改定後に多数追加された支払基金の「審査の一般的な取扱い」もすべて取り込んだ、2025年4月現在の診療報酬・審査基準に基づく最新版!!

★「第1章」では、診療報酬項目(検査・投薬・処置・手術等)の適応疾患・回数・分量・併算定の可否など、点数表ではわからないレセプト審査上の具体的な指標を収録。さらに「チェックポイント140」や「診療録への要記載事項」、支払基金の「審査の一般的な取扱い」もすべて収録しています。

★「第2章」には、審査機関の保険審査委員による「診療科別レセプト審査のポイント」を取録。外科・脳神経外科・呼吸器外科・内科・泌尿器科・皮膚科・整形外科・麻酔科の審査委員が、「最近の審査の傾向」「診療科別の審査チェックポイント」「症状詳記のアドバイス」を、実例をあげて詳細に解説。——本書だけで知り得る、この上なく貴重な内容です!!

★本書1冊に、レセプト点検の全チェックポイントが総まとめされています!!

CONTENTS

第1章 レセプトチェックの全ポイント

- ① 点検のチェックポイント140
- ②~⑩ (初診料〜放射線治療/精神科専門療法)
- 【記載例】◆「血液ガスと電解質測定: 急性期4日間は4〜6回/日、以後1週間は2〜3回/日、2週間以降は1回/日以内」◆「3月以内の再入院での梅毒反応、肝炎ウイルス検査: 原則として認められない。輸血後などは理由を付して算

定」◆「バルーン留置時の膀胱洗浄: 週2回、月10日を限度」◆「S状結腸・直腸癌手術時の病理組織学的診断: 2臓器とする」◆「胆嚢摘出の翌日に出血のため肝縫合術: 肝縫合術を試験開腹術で算定」——など

第2章 診療科別レセプト審査のポイント

- ① 一般外科
- ② 脳神経外科
- ③ 呼吸器外科
- ④ 内科
- ⑤ 泌尿器科
- ⑥ 皮膚科
- ⑦ 整形外科
- ⑧ 麻酔科

受験対策と予想問題集

診療報酬請求事務能力認定試験(医科)対応 / 2025年4月現在

★日本医療保険事務協会主催「診療報酬請求事務能力認定試験」の過去問題(最新試験を含む5回分)を取録し、全問題・全解説を2025年4月現在の診療報酬と医療制度に完全準拠させた最新版です!!

★①受験対策・実戦知識のキーポイント(カルテ読解・レセプト作成術など)、②オリジナル予想問題(解説)、③

第57〜61回試験問題(解説)——を取録。さらに、試験の持ち込み資料として画期的に便利な「別冊付録・レセプト作成マニュアル集2025」も収録しています。

★請求の基礎から応用ノウハウまで、試験に役立つすべての知識を1冊に凝縮。情報量・わかりやすさ・学習効果・合格者使用率No.1のスタンダード問題集・決定版!!

2025年4月現在の制度・診療報酬に完全準拠させた最新版!! 本書1冊に請求事務の知識とスキルをすべて凝縮。情報量・学習効果No.1のスタンダード問題集!!



杉本恵申、大西正利、長面川さより 他多数著
B 5判 約340頁
2,300円 (+税)

※①点数表読解術、②カルテ読解・レセプト作成術、③検査・カルテ略号一覧、④医療制度の要点解説、⑤別冊付録・レセプト作成マニュアル集 など、試験にそのまま役立つ情報満載!!

※最新試験を含む過去問題5回分を取録し、全問題・全解説を2025年4月現在の診療報酬と医療制度に完全準拠。間違えやすい重要ポイントを抜き出してわかりやすく解説しています。

60 検査

※最新試験を含む過去問題5回分を取録し、全問題・全解説を2025年4月現在の診療報酬と医療制度に完全準拠。間違えやすい重要ポイントを抜き出してわかりやすく解説しています。

※どこまでが保険診療として認められるか、点数表では規定されていないグレード(適応・回数・期間・分量・併算可否等)について審査上の「指標」を取載!!

★2040年に向けて激変する医療制度と診療報酬——第8次医療計画、新地域医療構想、かかりつけ医制度、感染症医療体制、医療DX、マイナ保険証、アウトカム評価——等の最新の動向とその潮流を読み解きます。

★病院&クリニックの、①最適な経営マネジメント、②医療の質とサービス向上、③医療機能選択と施設基準最適化、④請求もれ・査定減ゼロ、⑤医療制度（公費・労災請求等）の実務——等のノウハウと実務知識を満載しています!!

★医療制度改革、医療機関経営に直結するテーマについて、徹底的に掘り下げた特集を組んでいます。また、2024年6月診療報酬改定後の告示・通知・事務連絡は毎月必ず掲載し、次回2026年診療報酬改定に向けた審議会の動向や検討内容についても詳しく解説していきます。

★医療経営と保険請求実務の最新情報とノウハウを月1冊にオールインワンで凝縮!! 医療機関の経営者・管理職・医療事務職員の実務に役立つ医療総合誌!!



■A 4判 約120頁
■フルカラー/2色刷
■毎月10日発行
■購読希望者には見本誌を無料送付いたします



本誌の主な特集

【2023年】

- 1 1095日の“失敗のメカニズム”
2 接遇・マナー改善の“12”メソッド
3 “効率化”を最適化する
4 “医療DX” 総まとめ
5 ゼロからわかる“薬剤”入門
6 診療単価アップの“力点”
7 “ハラスメント”ゼロ対策
8 人を集める技術、人が集まる条件
9 10年後の“未来予想図”
10 “セキュリティ”の鉄則
11 Before 2024
12 “モチベーション”を科学する
最新時事NEWS総まとめ

【2024年】

- 1 【比較検証】データで見る日本の現実
2 特集Ⅱ 2024年診療報酬改定・新旧対照表
特集Ⅲ 2024年介護報酬改定はこうなる
3 2024年改定——全詳報&シミュレーション
【別冊】診療報酬BASIC点数表 2024
4 5 診療点数早見表2024年度版
6 2024年改定“完全攻略”マニュアル〔Ⅰ〕
7 2024年改定“完全攻略”マニュアル〔Ⅱ〕
8 わからないうこと講座 2024
~2024年トリプル改定のキーワード~
9 医療の“経営環境”の変化——2024年現在
~8つの環境変化にいかに対応するか~
10 マイナカード&マイナ保険証の総検証
~なぜ健康保険証を廃止しなければならないのか~
11 医療事務“進化論”——現在・過去・未来
~求められる役割とスキルの変遷~
12 新型コロナの教訓は活かされているか
最新時事NEWS総まとめ

【2025年】

- 1 マスメディアと医療
2 能登地震・豪雨災害から見てきたもの
3 増え続ける“認知症”——その医療と介護

■価格：1,800円（+税）
■定期購読（送料別）
半年：10,800円（+税） 1年：21,600円（+税）

★口座自動引落し+1年契約は割引特典あり

⇒ 1年（1割引）：19,440円（+税）
〔1部単価：1,620円（+税）〕

※ お申込みは、注文ハガキ・FAX・電話・HP等で、何月号から購読されるかお知らせいただくだけで結構です。

月刊 保険診療

Journal of Health Insurance & Medical Practice

医療政策、診療報酬の動向を的確にキャッチ!!

本誌の主な連載

- ★視点…医療制度改革や医業経営に関する様々な異論・提言・卓説・高説を読み切り掲載
★TREND…AIやICTの利用など医療の新たな潮流や最先端の知見を解説
★DATA分析“特別捜査官”…医療機関のDATA分析の手法とスペシャルな活用法を解説
★病院&クリニック経営100問100答…医業経営のプロ達が経営改善のノウハウを明快に指南
★こうして医療機関を変えてきた!…院内改革を断行し、着実に成功させてきた貴重な経験知
★NEWS縦断…医療政策・診療報酬の潮流を探り、2040年改革への道筋をナビゲート
★プロの先読み・深読み・裏読みの技術…医療・診療報酬の変化を的確に読み解くプロの目
★実践DPC請求Navi…カルテの病名・内容から適切なDPCを選択する実践的ノウハウを解説
★パーフェクトレセプトの探求…請求もれ・査定減をゼロにするための実践マニュアル
★レセプト点検の名探偵…請求ミスが埋もれたレセプトの“謎”を見事解決するプロの眼
★点数算定実践講座…カルテ読解から点数算定、レセプト作成までの全工程を事例問題で詳述
★カルテ・レセプトの原風景…医師の診断の思考過程、全診療行為のディテールを再現
★医療事務Openフォーラム…現場の斬新な取組み、画期的工夫、業務改善ノウハウを紹介
★保険診療オールラウンドQ.A…診療報酬・保険制度等のQ&Aを集大成し明快に解説
★読者相談室…診療報酬・法制度・臨床医学に関するあらゆる疑問・難問に答えるQ&A
★厚生関連資料…最新の厚労省告示・通知等をポイント解説付きで掲載。点数表該当頁も明示

特集 医療の“経営環境”の変化——2024年現在
~8つの環境変化にいかに対応するか~
Part 1 医療をめぐる経営環境の変化にどう対応するか
医療者 50 名、経営者 40 名、関係者 10 名による 100 問 100 答
★医療政策や医療環境の変化を的確にキャッチし、実務的視点とジャーナリスティックな視点から鋭く切り込んだ特集!!

Part 2 2024年改定対策——6枚の企画書(下)
1 急性期一般入院基本料1の要件厳格化への対応
★2024年トリプル改定から2040年に向けた医療制度改革の行方、診療報酬改定の潮流、医療機関の経営戦略・マネジメント・医療事務の実践ノウハウを満載。

2024年トリプル改定を読み解く 8
NDBを元にしたデータ分析で建設的な議論が実現、評価できる改定に
★診療報酬改定や法改正の前後にはディテールと対応策を実践的に解説。2024年改定から2026年改定に向けて、その動向と最新情報を的確にキャッチアップ!!